

やすらぎ通信

第42号（平成26年5月1日） 発行：大阪府立急性期・総合医療センター

皐月(さつき)

背くらべ

作詞 海野 厚 作曲 中山晋平

柱の傷は おととしの
五月五日の 背くらべ
粽(ちまき)たべたべ 兄さんが
計ってくれた 背のたけ
昨日くらべりゃ 何(なん)のこと
やっど羽織の 紐(ひも)のたけ

柱に凭(もた)れりゃ すぐ見える
遠いお山も 背くらべ
雲の上まで 顔出して
てんでに背伸(せのび) していても
雪の帽子を 脱いでさえ
一はやっぱり 富士の山

庭の隅の水仙から始まった密やかな春の訪れは、日が長くなるにつれ勢いを増し、やがて桜の開花で華やかさを一気に加え、ついには朱色や桃色の艶やかな皐月咲く美しい季節となりました。風薫る5月と言われますが、晴れた日に外を歩くとそよぐ風に若々しい緑の香りがほのかに感じられ身も心も浮き立つ気持ちにさせられます。

5月の和名は「皐月」、もっとも新暦と旧暦では一月ほどの差がありますので本来的な意味を含む「早苗月（さなえづき）」というもう一つの和名の方がじっくりくるかもしれません。そのためによく誤解が生じますのが「五月雨（さみだれ）」や「五月（さつき）晴れ」で、本来は梅雨のことであり梅雨の中休みの晴れのことを意味します。もっとも言葉というものはその時々世相を加えて変化するもので、大半の人が使えばあながち間違いとも言いにくくなってきます。なお、早苗月の由来はもちろん早苗（苗代から田へ植え替える頃の稲）を植える時期から来ています。

今回で一回りしました「季節のことば36選」、5月は「五月人形、鯉のぼり、柏餅」が選ばれています。ここでふと気になったのが、表紙の今月の歌で歌詞に含まれています粽（ちまき）と5月の言葉にある柏餅の関係です。姿かたちは異なりますが味に大差はないような感じはします。しかし、包む葉が異なるように由来にもやはり違いがあるようです。

粽は古代中国に由来を持ち、今から2300年ほど前の中国戦国時代、楚の国で人望ある政治家で詩人でもあった屈原（くつげん）が国の行く末に絶望して川に身を投げたため（なおこの日が5月5日とのことです）人々はその死を悼み屈原の命日に川に供物を投げ込みますが、その供物が川に住む龍に先に食べられないよう龍が苦手だといわれる楝樹（れんじゅ）の葉で包み屈原のもとに届くようにしたという故事から来ているとのことです。このため粽に結んだ赤・青・黄・白・黒の五色の糸は子供が無事育つようにとの魔よけの意味が込められているそうです。

これに対して柏餅は江戸時代に生まれた日本独自のお菓子で、柏餅を包む柏は新芽が育つまで古い葉が落ちないことから跡継ぎが途絶えない、すなわち子孫繁栄と結びつき子供の成長を祝う端午の節句の縁起の良い食べ物となったようです。

なお、そのころには江戸に文化の中心が移っていたためか柏餅はその後、全国に広がりましたが伝統を重んじる京文化圏では粽が継承され、今でも関東は柏餅、関西は粽と東西の食文化の違いの一つに挙げられるようです。

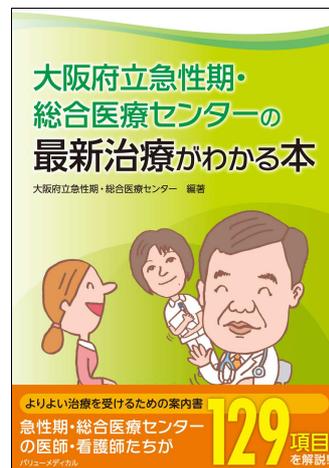
昔は乳幼児の死亡率も高くそれだけに親としては生まれた子供が少しでも丈夫に育つためにひとつひとつの季節の行事に親の願いが込められたのでしょう。翻って現代では乳幼児の死亡率は大きく減りましたが、生まれてくる子供の数そのものが大きく減っており、伝統や文化を伝えていく次世代という意味で社会全体を見た跡継ぎの確保は江戸時代より厳しい状況かもしれません。毎年、こどもの日の頃に話題になる子供の数が少しでも右肩上がりになるように子供を安心して育てられる、そしていきいきと育ちやすい社会づくりを私たちはもっと真剣に考えるべきなのでしょう。

NEWS

【「急性期・総合医療センターの最新治療がわかる本」が出版されました！】

府民の皆さま向けに、当センターで行われている最新治療をご紹介する書籍を出版しました。当センターの医師や看護師らが、分かりやすく、簡潔に、しかも必要な情報はきちんと把握できるように執筆しています。

この本は、いわゆる医学書や診療ガイドブックではなく、健康なときから病気にかかったときまで、府民がよりよい治療を選択する際に役立つ健康情報を掲載しています。病気を理解し、よりよい治療を選択するための案内書としてご活用いただければ幸いです。



発売日：平成26年4月7日（月）

価格：1,998円（消費税8%込）

◇当センター内のローソンや近隣の一般書店等で販売します。

◇当センター内のローソンでは、下記の方を対象に割引販売を実施します。

- ・当センターの診察券をレジで提示いただいた方
- ・当センターで開催されるイベント参加者にお配りする書籍の案内リーフ（割引券付き）をレジで提示いただいた方

割引価格：1,700円（消費税8%込）

【(新) ～地域の医療機関の皆様へ～ 外科のめぞすがん医療】

初診時から始まる低合併症・低侵襲を目指したがん医療

初診時から栄養状態評価・体組成測定（骨格筋量など）・身体機能評価（握力、歩行速度など）を行い、がん患者さんの数十%に見られる2次的サルコペニアの拾い上げを行います。術前にはリハビリ部門による運動療法介入を行い、術後の合併症発生予防を図ります。手術は、食道がん・胃がん・大腸がん・肝臓がん・肺がんに対し病期に応じて、胸腔鏡や腹腔鏡を用いた開胸・開腹しない低侵襲鏡視下手術や機能温存手術を積極的に導入しています。特に直腸がんでは da Vinci によるロボット手術を全国でもいち早く導入し既に18症例で安全に施行しさらに症例数を積み重ねています。

外科手術症例数は年々増加しており2013年度は1156例であり、その実績からがん診療連携拠点病院の役割を担っています。術直後にはE-PASSによる予測合併症発生率・死亡率を計算した上で厳重な術後管理を行います。退院後も積極的な栄養介入を継続し、骨格筋量および身体機能の維持に努め、合併症のない在宅生活復帰をシームレスに支援します。

総合医療センターの強みを生かしたがん医療

がんは高齢者の病気であり、来院時に脳血管・心臓・腎臓の障害や糖尿病などを合併した患者さんは少なくありません。他院では治療が難しいとされたがん患者さんに対しても、各科の高度専門家集団との円滑な連携で「地域の最後の砦」としての自覚の元に「決して逃げないがん医療」を担って行きます。

最新のがん医療を日本全体へ情報発信

進行がんに対しては抗がん剤、放射線、手術を組み合わせた集学的治療を積極的に行い治療率の向上を目指します。抗がん剤治療の新規開発においては、多施設共同臨床試験への参加・登録数は全国でも有数であり、最新の知見に基づいた治療、全国でも限られた数十の施設でしか受けられない新規薬剤を使った治療や Global 治験、厚生労働省の認可を受けた先進医療など、他の施設では得られない治療を提供出来ることは大きな特色です。

早期がんに対する地域連携パスをはじめ先生方と連携を密に取りながら、最新・最良の医療を提供することで先生方のお役に立てるよう精進して参ります。

尚一層のお引き立てを、大阪府立急性期・総合医療センター外科に賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

消化器外科主任部長 藤谷和正

【～地域の医療機関の皆様へ～ 人工関節センターからのお知らせ】

2007年に人工関節センターを開設して今年で7年目を迎えます。近年の人工関節の性能向上、技術向上には目覚ましいものがあります。摺動面の耐摩耗性向上、可動域の改善、手術ナビゲーションによる正確で再現性の高い手術などにより、除痛の最終手段として考えられていた人工股関節・膝関節手術は、快適な日常生活を送るためのより一般的な手術へと変わりつつあります。

ナビゲーション手術

当科では人工股関節手術においてナビゲーションを2009年6月から使用開始しております。その安全性と治療効果が認められ、2012年4月から保険適応となりました。術前CTデータに基づいた3次元での正確な計画を、1度1mm単位で手術に再現することが可能になっており、安心して長く使える人工股関節になります。

両側同日手術

従来は主に両側膝関節罹患で希望のある患者さんに限定して行っておりましたが、現在は、適応と判断した場合は股関節症例を含め、こちらからお勧めしています。股関節症例も貯血のみで安全に行えており、入院期間は片側手術症例と大差なく、総合的な機能回復時間の短縮・入院費用低減など患者さんのメリットが大きい方法です。

当センターでは、人工関節を一生安心して使って頂けるよう、手術後安定した状態になってからも年1回程度の定期検診を継続させて頂いており、異常が認められた場合に早期に対応できるようにしております。日常の診療はかかりつけ医の先生方にお

願いしておりますので、御理解と御協力の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

人工関節センター関節外科部長 原口圭司

【医療情報コーナーをリニューアルしました】

当センターでは、従来から来院された患者さん等に病気に関する知識や連携する地域の医療機関の情報を提供する医療情報コーナーを本館1階の正面玄関入って左横とやすらぎセンター入口に分かれて設置していましたが、このたびさらなる情報提供の充実と利便性の向上を図るため、やすらぎセンター内に新たなスペースを確保し患者情報を集約しました。新コーナーでは書籍・パンフレット等の医療情報の提供に加え、大型ディスプレイによる電子掲示板を導入し見やすくタイムリーな当センターの情報を提供することも出来るようになりました。近くには椅子やテーブルも配置しておりますのでゆっくりと情報収集することも可能です。どうぞ皆様方の積極的な活用をお願い申し上げます。

【～地域の医療機関の皆様へ～

前立腺癌の手術 ―開腹手術から腹腔鏡手術、そしてロボット手術へ―

泌尿器科領域における手術の多くは腹腔鏡手術が主流となってきており、前立腺癌の手術にも多くの施設で腹腔鏡手術が行われるようになってきています。当科でも2009年より腹腔鏡下前立腺全摘術を開始していましたが、腹腔鏡手術のさらに進んだ形の内視鏡手術支援ロボット「da VinciS」(ダ・ヴィンチ)を使ったロボット手術を2012年6月から開始しました。

ダ・ヴィンチは術者が患者さんとは離れた位置で操作しながら手術を行う機械です。当院では2014年1月末までに約120例の前立腺癌に対するロボット手術を行っています。このダ・ヴィンチによる手術の特徴は術者が拡大された3次元の画像を見ながら手術操作を行うところにあります。手術操作鉗子の先は手首や指の関節のようになめらかに動き、人間の手以上の可動域を持っており、より細かな手術操作が可能となり、狭い骨盤の底で尿道と膀胱をつなぎ合わせる前立腺癌の手術には最適の医療技術と言われています。前立腺の周囲には血管や勃起に関係する神経や尿道括約筋が存在します。拡大された3次元の画像を見ながら、術者の手の動きは縮尺され、手ぶれも補正されて行われるため正確な手術が施行可能です。特に勃起神経の温存が極めて容易となり、早期から男性機能の改善が認められ、正確な手術により、術後の尿失禁も従来の開腹手術や腹腔鏡手術に比較して早期に回復が見られるようになりました。

また、大きな合併症もなく約10日～2週間ぐらいの入院期間で治療可能です。現在当科では前立腺癌の手術はほぼ全例にロボット手術を行っております。

当院では地域との医療連携を図り、最新の医療を提供していきたいと考えております。また、前立腺癌患者とPSA検診の地域連携パスも開始予定であります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

泌尿器科主任部長 山口誓司

【～地域の医療機関の皆様へ～ 心臓血管センター不整脈科 開設のお知らせ】

不整脈に関する研究はこの 10 年間で飛躍的に進み、カテーテルアブレーションや心臓植え込みデバイスと言った不整脈を取り巻く医療機器も著しく進歩しております。こうした専門的な治療を提供するため、このたび心臓血管センターに新たに不整脈科を開設いたしました。心臓内科や心臓血管外科と密な連携を図りながらこれまで以上によりよい医療を提供させていただきます。

頻拍に対するカテーテル治療（カテーテルアブレーション）

カテーテルアブレーションの進歩により不整脈は根治可能な病気となっています。近年は不整脈の 3D マッピングシステムである CARTO 3 を駆使して頻拍の根治を目指して治療に当たっています。心房細動は日常臨床で最も良く見られる不整脈です。1998 年に心房細動の多くが肺静脈起源であることが分かり、肺静脈隔離術が考案されました。当センターでも積極的に心房細動に対するカテーテルアブレーションを行っております。

心臓植え込みデバイス

これまでペースメーカ植え込み後は MRI 検査を受けることは出来ませんでした。昨年より植え込み後も MRI 検査を受けることが可能なペースメーカが発売され、多くの症例で使用しています。

当センターは心不全患者を多く診療してきた実績があります。心不全患者で問題となる突然死を防ぐ植え込み型除細動器（ICD）や心不全に対する心臓再同期療法も行っています。

当科では地域の先生方と連携を密にとりながら患者の治療に当たりたいと思っています。不整脈の発作時はいかなるときも救急での受診が可能です。治療を行い退院後はかかりつけ医の先生方に日常の診療をお願いしつつ、数ヶ月ごとに当科でもフォローさせていただきます。当センターの理念である「急性期医療・高度先進医療」のため、何卒御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。

心臓血管センター不整脈科部長 古川善郎

【～地域の医療機関の皆様へ～ C 型慢性肝炎の新しい治療が始まります！】

C 型慢性肝炎は無症状に経過し肝硬変や肝臓に進む病気です。

約 20 年前からインターフェロンを中心とした C 型肝炎ウイルス（HCV）に対する抗ウイルス治療が行われるようになり、HCV が排除された方では肝臓の発生が抑制されます。当初のインターフェロン単独治療では難治性 C 型肝炎（血清グループ 1 型、高ウイルス量）に対するウイルス学的著効率が 5%程度であったものが、ペグインターフェロンとリバビリンの 2 剤併用で 50%と治療効果が進歩しています。さらに近年の世界的な DAA(Direct-acting Antivirus Agent)としての抗ウイルス剤開発により難治性 C 型肝炎でも 90%の著効が得られるようになりました。

2011 年 11 月から保険使用可能となったプロテアーゼ阻害剤であるテラプレビルと

ペグインターフェロン+リバビリンの3剤併用に続き、昨秋には第2世代プロテアーゼ阻害剤のシメプレビルが承認され3剤併用療法として2013年12月から使用可能です。本治療法は副作用がテラプレビリに比べ少なく、従来のペグインターフェロン+リバビリン2剤併用と同程度とされています。開発治験では90%の著効率が報告されておりC型慢性肝炎治療として画期的と期待されています。一方でC型慢性肝炎がありながら検査を受けるチャンスがなく、わからないまま肝臓病が進行してしまう方がおられます。こういった方がないようにC型肝炎の検査を積極的に行い、肝硬変や肝癌にならないよう治療チャンスを作ることが医師の使命と考えます。

新しい治療はインターフェロン地域医療連携で行うこともできます。地域でC型肝炎を囲い込み一人でも肝臓になる人が少なくなればと考えております。

ご協力ご支援をお願い申し上げます。

消化器内科主任部長 井上敦雄

【エコロジーガーデン事業を実施中です】

当センターでは、10月から施設内に観葉植物を配置することにより、患者さんやその家族の方々などに緑化によるやすらぎの空間を提供するエコロジーガーデンと名付けた院内緑化事業を行っています。配置する植物はCO²(二酸化炭素)やVOC(揮発性有機化合物)の吸収にすぐれており、土壌は消臭効果の高い活性炭や石灰岩を利用するなど空気浄化能力も備えており、鉢植えにして主に本館1階のやすらぎセンターや2階の病院ギャラリー付近を中心に正面玄関口や病棟に向かう廊下にも配置しています。なお、この事業はエコロジーガーデン事業の趣旨に賛同するグリーンオフィシャルスポンサーの応援を頂いて実施しています。

当センターでは、今後も来院される皆様方に少しでも心地よい環境を提供するため配置箇所の増加などに努めてまいります。

【「医療相談」コールセンターのご利用を - 地域医療連携室 -】

患者さんやご家族などからの医療や病院利用に関するご相談を、専門の看護師が電話でご相談に応じさせていただく「医療相談」コールセンターを開設運用しております。是非お気軽にご利用ください。

電話番号は 06-6692-2800 (専用電話回線)

06-6692-2801 (専用電話回線)

相談日時 月曜日～金曜日 午前9時～午後5時

相談対象 医療相談を希望されるご本人若しくはご家族等

相談員 看護師

【診察予約変更センター 9 診療科において診察の予約日・時間の変更を電話で受け付けています！】

当センターでは、下記の9診療科を対象に、電話で診察時間の予約の変更ができるよう「診察予約変更センター」を設置しています。是非、積極的にご活用ください。なお、このサービスは初診に関しては行っておりませんので、ご注意ください。よろしくお願いいたします。

(電話番号) 06-6692-1201(代表)にダイヤルして
「予約変更センター」と言ってください。

(受付時間) 午後3時～午後5時(平日のみ)

(対象診療科) 呼吸器内科 消化器内科 糖尿病代謝内科
皮膚科 形成外科 腎臓・高血圧内科
神経内科 脳神経外科 耳鼻咽喉・頭頸部外科

【入院治療費や外来での検査費用の概算を予めお知らせするサービスをしています】

当センターにおきましては、入院患者さんへのサポートを総合的・集約的に行う入院センター（やすらぎセンター）におきまして、ご入院申し込み時に予め標準的な治療を行った場合の概算費用をお知らせするサービスを行っています。

また、CT、MRI、RI、エコー検査など検査費用の概算を医療・福祉相談コーナーなどでお知らせするサービスも行っていきます。

今月の催し

【第3回リウマチ教室】

日 時 5月20日(火) 午後2時～4時

場 所 本館3階 講堂

内 容 関節リウマチの治療 2014年

(免疫リウマチ科主任部長 関節リウマチ・バイオサポート
センター長 藤原弘士)

リウマチのお薬について (薬局薬剤師 立川奈保美)

リウマチ患者さんの口腔衛生について

(歯科口腔外科歯科衛生士 柿添 忍)

参加費 無料

【すこやかセミナー「肺のパンク、自然気胸について」】

日 時 5月23日(金) 午前11時～12時
場 所 本館3階 保健教室
講 師 呼吸器外科部長 大森謙一
参加費 無料



【第6回肝臓病教室】

日 時 5月24日(土) 午前10時～12時
場 所 本館3階 講堂
内 容 「C型肝炎の最新治療について」
C型肝炎の最新治療について(消化器内科主任部長 井上敦雄)
C型肝炎の検査の見方(消化器内科副部長 春名能通)
病態に合わせた食事の献立(栄養管理室管理栄養士 織田 都)
参加費 無料

【相愛大学連携 第37回外来糖尿病教室

知って得する! 糖尿病との付き合い方】

日 時 5月27日(火) 午後2時～
場 所 本館1階 アトリウム
内 容 久しぶりにインスリンの話(糖尿病代謝内科副部長 畑崎聖弘)
糖尿病の運動療法(リハビリテーション科理学療法士 松井未衣菜)
嘔むことの効果(相愛大学 爲房恭子)
参加費 無料

【第32回相愛大学連携コンサート 初夏のピアノソロ演奏会】

日 時 5月28日(水) 午後2時～
場 所 本館3階 講堂
出 演 ピアノ独奏 小柳るみ
入場料 無料



【第12回病院ギャラリー企画展 須田剋太「街道をゆく」挿絵原画展 — 竹内街道、河内みち、堺・紀州街道、奈良散歩 — 】

『街道をゆく』は、司馬遼太郎氏が、1971年から1996年まで、25年以上にわたって週刊朝日に連載し、単行本にもなっている歴史紀行文学です。国内はもちろん、中国やモンゴル、さらには遠く南蛮(スペイン、ポルトガル)やオランダ、アイルランドをはじめ世界各地の街道も訪ね、司馬氏の洞察力に富んだ味わい深い文章により、その国や地域の歴史と風土を描いています。須田剋太氏は連載開始から1990年までの約20年間、司馬氏に同行してスケッチを重ね、「街道をゆく」の挿絵を制作しました。

それらの作品は、挿絵として各地の雰囲気や情景を伝え読者を楽しませるだけでなく、独特の画風で色彩豊かに描かれ、絵画作品としても優れたものとなっています。[大阪府立江之子島文化芸術創造センターホームページ内の解説文より抜粋]

今回は須田剋太氏が描いた「街道をゆく」シリーズの中から『竹内街道』(6作品)、『河内みち』(10作品)、『堺・紀州街道』(4作品)、『奈良散歩』(10作品)を紹介させていただきます。

(本企画展は、大阪府江之子島文化芸術創造センターのご協力を得て実施します。)

開催期間 4月28日(月)～8月1日(金)まで

展示場所 本館2階 病院ギャラリー

展示作品 竹内街道他 30枚

※ 6月3日(火)13時30分から大阪府府民文化部都市魅力創造局文化課・主任研究員の中塚宏行氏による作品説明会(約20分)を病院ギャラリーで開催いたしますのでご参加ください。

【(予告)第22回万代・夢寄席 旭堂小二三講談の会】

日時 6月3日(火)午後2時～

場所 本館3階 講堂

出演 講談師 旭堂小二三

入場料 無料

【(予告)すこやかセミナー「緑内障の早期発見」】

日時 6月12日(木) 午後2時～3時

場所 本館3階 保健教室

講師 眼科部長 内堀泰孝

参加費 無料

【(予告)相愛大学連携 第38回外来糖尿病教室

知って得する! 糖尿病との付き合い方】

日時 6月17日(火) 午後2時～

場所 本館1階 アトリウム

内容 HbA1c 7.0%未満を目指して一緒に考えてみましょう
(糖尿病代謝内科医長 藤木典隆)

糖尿病とお付き合い(糖尿病看護認定看護師 後藤博美)

塩分について(栄養管理室管理栄養士 笠井香織)

参加費 無料

【(予告) すこやかセミナー「増え続けている癌～乳癌の話～」】

日 時 6月27日(金) 午前11時～12時
場 所 本館3階 保健教室
講 師 乳腺外科副部長 野村昌哉
参加費 無料

Topics



【管理栄養士のコーナー】 ～ちょっとおいしい話～

春から夏に移る節目を迎える季節になりました。4月から環境が変わられた方は少し慣れてきたころでしょうか。

この時期、旬を迎える初鰹は秋に旬を迎える戻り鰹に比べて脂が少なくあっさりしています。刺身、たたきだけでなく、蕎麦と炊き合わせたり、野菜炒めやサラダでも味わえます。

今回は鰹のたたきとたっぷりの野菜が楽しめる簡単メニューをご紹介します。たれはごま油やにんにくを加えることで、ポン酢より塩分が少なくなります。

《材料》	(1人分)	(2人分)
鰹	80 g	160 g
水菜	50 g	100 g
新玉葱	50 g	100 g
人参	15 g	30 g
新生姜	5 g	10 g
A	濃口醤油 小さじ1 1/2 杯	小さじ3 杯
	酢 小さじ1 杯	小さじ2 杯
	ごま油 小さじ1 杯	小さじ2 杯
	砂糖 少量	少量
	にんにく 適量	適量

(1人前) エネルギー：138kcal たんぱく質：23g 脂質3.6g 食塩相当量：1.4g

- ① 鰹のさくはフライパンを熱し油をひかずに表面を焼き、粗熱をとり1cm幅に切る。
- ② 水菜は5cm長さに切り、新玉葱は薄切りにし水にさらす。
- ③ 人参、新生姜は千切りにして水にさらす。
- ④ にんにくはおろし、Aを混ぜ合わせる。
- ⑤ 鰹、水切りした野菜を彩りよく盛りつけ、④のたれをかける。

白とピンクが鮮やかな新生姜は貯蔵したものより辛みが少なくさわやかな香りが

楽しめます。生姜ご飯や、天ぷらだけでなく、甘酢漬けにして酢の物に合わせるのもおすすめです。是非、お試し下さい！

栄養管理室管理栄養士 荒川 和子

今月のひまわりさん

各種窓口でセンターご利用のお手伝いをさせていただいている医事事務委託会社ソラストの窓口担当を紹介させていただくコーナーです。

【(新) 外来クラーク 鈴木さんの巻】

私は外来クラークとして7番外来で業務しています。

7番外来には腎臓内科と泌尿器科があります。腎臓内科では2011年12月より“慢性腎臓病の進行を止める”という目的で毎月1回の講演会が開催されています。毎回、様々な病気をテーマに先生・看護師さん・栄養士さん・薬剤師さんなどが患者様に講演や日常生活の注意事項を説明しています。

この講演を聞かれたある患者様のご家族は、「先生のお話がとても分かりやすかった。母の病状がよくわかり、ためになりました。」と喜んでおられました。また、泌尿器科の患者様からは「一年前に外来をリフォームして、清潔で広くなった。とても快適。」との評判をよく耳にするようになりました。こうしたお褒めの言葉を聞くと嬉しくなり、自然と笑顔になります。

私事ですが、先日インフルエンザにかかり、近くの診療所に受診に行きました。待合室は人で溢れかえっていました。やっとの思いで自分の順番がきた時には、とても気分が悪かったのですが、先生の優しい言葉と丁寧な診察のおかげで、すべてが癒やされた思いがしました。弱られている患者様にとって心地よい言葉は何にも勝る薬であり、安心感を与える物なのだとつくづく感じました。私も仕事でいくら忙しくても“おもてなし”の心を忘れず、7番外来で患者様に優しい言葉で接していきたいと思いました。

その他のお知らせ

【医療費の支払いはキャッシュカードでできます！】

当センターの医療費自動精算機は、デビットカード対応となっておりますので、ほとんどの金融機関のキャッシュカードでお支払いができます。

これらの金融機関はJ-Debitに加盟していますので、キャッシュカードに自動的にデビット機能が付与されているからです。(ただし、キャッシュカードでお支払いいただいた場合は即座に口座から引き落とされることとなるため、口座に引き落とし金額以上の残高が必要ですのでご注意ください。)

このため、医療費の支払いのための現金を持たなくても、キャッシュカードさえあればお支払いが可能です。

また、引き落としの手数料は不要ですので大変便利です。是非ご利用ください。なお、合わせて一般のクレジットカードでのお支払いもできます

【やすらぎ通信はメルマガで！】

「やすらぎ通信」は、メルマガでも配信しております。ご希望の方は、当センターホームページの「メールマガジン申込み」からアドレスを登録していただきますようお願いいたします。なお、ホームページの検索は、「大阪府立急性期・総合医療センター」にて可能です。

当センターは、当センターが「希望の医療空間」「よろこびの医療空間」「やすらぎの医療空間」となるよう日々努力しています。